

原子力リサイクルビジネスに関する 進捗状況について

令和7年11月25日

福井県

1. クリアランス集中処理事業の進捗状況【会社設立】

- 規制面では、審査基準も改正され、事業実現の見通しが得られた
- 今年の5月30日に、福井県と嶺南6市町、原子力事業者、地元金融機関が連携してクリアランス集中処理事業を進めていくため、包括連携協定を締結
- 8月には事業を行う「福井県原子力リサイクルビジネス準備株式会社」を設立、事務所は敦賀市内に設置
- 今月、福井県とEDF社（フランス電力）が連携して廃炉ビジネスを推進するため協力協定を締結



原子力リサイクルビジネスの推進に関する包括連携協定締結式



会社設立時の看板かけ

1. クリアランス集中処理事業の進捗状況【操業に向けた取組み】

現在の取組み内容

- **クリアランス集中処理施設の詳細設計**
施設の全体構成や溶融炉等の導入設備の検討に着手
- **地質調査**
建設候補地の地質調査を11月から着手



地質調査（ボーリング調査に向けた準備作業の様子）

今後の予定

- **廃棄物管理の事業許可申請（令和9年頃）**
詳細設計や地質調査等の結果を踏まえ、準備が整い次第、原子力規制委員会へ事業許可申請を行う
- **施設の建設・クリアランス認可の取得（事業許可取得後）**
施設の建設、試運転、各種試験等を行い、原子力規制委員会からクリアランス測定方法の認可を受け、操業を開始する

2. 地元企業の参入促進活動

- 地元企業が元請としてクリアランス集中処理事業に参画して元請経験を積むことで、廃止措置工事に元請に近い立場で参画できるよう、継続して勉強会や研修を実施中

【令和7年度】

人材育成研修

- 令和6年度に引き続き、現場業務や元請業務に必要な能力を得るための人材育成研修を実施
 - ・放射線管理や品質保証に係る研修
 - ・原子力規制やクリアランス制度に係る研修



放射線測定実習の様子

今後の方針に関する検討

- 地元企業の能力や要望を調査し、各社の力量に合わせた研修計画を策定中
- 放射性物質を扱う現場において元請業務を担う場合、実務経験も必要
そのため、現在元請を行っている企業のもとに地元企業の従業員がOJTとして参加し、実務経験を積むことができないか検討中

3. 地域住民向けの理解促進活動

- 地域住民の理解促進を図ることを目的に、クリアランスについての理解促進活動を、嶺南各市町の地域住民および嶺北・嶺南の高校生を対象に実施
- クリアランス金属の再利用を促進

【令和7年度】

地域住民の理解促進

- 地元住民や高校生で構成するステークホルダーグループ（SHG）が主体となり、廃止措置やクリアランス物の再利用に対する理解促進活動を実施
- 高校生SHGにおいて、クリアランス金属を再利用した消費財（ハンガー・ティッシュボックスの上蓋）を製作中。その製品を実際に一般家庭で使用するモニター実証を行う予定

公共工事での使用

- 資源エネルギー庁と連携し、クリアランス金属を再利用した鉄筋を敦賀市内と南越前町内の公共工事で使用する予定



美浜SHGが企画した「原子力発電所の見学ツアー」に参加する高校生の様子



クリアランス金属を再利用したハンガー